

申3号

車掌業務の安全・サービス等に関する申し入れ交渉実施!

第1項 お客さま救済設備、乗務員の教育訓練について

組合

震災以降、新しい訓練方法、梯子の取り扱いなどを具体的に示すこと。

搭載の梯子は、使用上不安がある。問題点の改善に向けて早急に対策するべき。

震災以前の訓練が悪かったわけではないが、必要であれば強化はしていく。

梯子は重量、狭小場所での使用が課題であると認識し、現在勉強中。

会社

お客さま救済設備、教育訓練について現場の声をしっかりと反映させることが大震災の教訓。各支社の連携を含め本社のバックアップを要請!

第2項 車内補充券発行機の使用について明らかにすること

具体的な導入スケジュールは?

2012年度末に先行導入予定。

先行導入区間は?

最初に中央線にいれていく。3月下旬に松本、八王子、甲府、新宿に導入予定。

開発に向けて現場の意見は聞いたのか! 社員の声が十分に反映されていない!

2008年に全職場から意見集約した。

大きな変更点は、ICカード処理と小型化。その他変更点を列挙し、現場の声を聞くこと!

了解。変更箇所を具体的に示し議論することを確認。

第3項 新幹線車掌の制服をクールビズにすること

なぜ新幹線の車掌だけが上着着用の白服なのか?

新幹線というブランドシンボル。サービスの観点からジャケットを着てもらっている。

白服の着用で、体感温度と車内の温度調節がうまくいかずお客さまから苦情が来ている!

体感温度より暖かめに設定すればよい。

対立!

車掌が倒れてもよいのか!

○ 憧れと健康面は同一レベルで議論できる問題でない。

○ “暑さ”に我慢を強いられている乗務員の声を真剣に受け止め検討すること!

災害に強い鉄道を目指すとともに、車掌の健康を守り抜こう!